

令和4年度事業実績について

I 事業の目的

安全で商品性の高い農産物の安定供給と生産性の向上を図るため、関係機関・団体、農薬メーカー等と密接な連携を図りながら、農薬の安全・適正使用の推進を始めとして、効率的な病虫害防除の推進、新規登録・適用拡大農薬の普及性の実証及び農産物の安全性を確保するGAPの推進等の各種事業に取り組んだ。

II 実施事業の概要

1 植物防疫啓発事業

病虫害防除に関わる関係法令を遵守し、農産物への農薬残留事故の回避及び農薬による環境汚染の防止を図り、農薬の安全で適正な使用による安定した農業生産及び生産環境を維持することを目的として、農薬管理指導士、防除業者、農薬販売業者及びJA・関係団体の指導員等を対象にした各種研修会を開催するなど啓発活動を実施した。特に消費者の食の安全・安心への関心が高まる中、人の健康へのリスクと環境負荷への軽減が求められており、農薬の適正利用を基本とした「宮崎方式ICM技術」の普及に関する啓発活動に務めた。

また、病虫害発生が多様化と難防除病虫害の増加に対応した効率的な防除と安全な農薬使用を推進するため、発生予察情報を迅速で適切に提供するとともに、最新の防除技術及び農薬安全使用などに関する資料を作成し、的確な広報活動に取り組んだ。

主な実施項目

(1) 農薬管理指導士更新研修会の開催

対象者：農薬管理指導士

研修会の内容：

- ① 農薬の安全使用と危害防止対策
(一般社団法人宮崎県植物防疫協会)
- ② 病虫害防除対策の基礎
(県総合農試専門技術センター)
- ③ 毒物及び劇物取締法について
(県中央、都城、延岡保健所)

表1 開催概要

開催日	開催場所	参加者数
11月30日	三股町(町立文化会館ホール)	85名
12月1日	延岡市(延岡総合文化センター)	20名
12月5日	宮崎市(農協会館JA・AZM本館)	125名
合	計	230名

(2) 宮崎県農薬管理指導士新規養成研修の開催

開催日：令和5年1月13日

場 所：宮崎市 宮崎県農協会館 J A・A Z M本館大ホール

対象者：農薬取扱者（J A、農薬販売店等）、防除業者、ゴルフ場職員等
51名が受講・受験し、49名が認定された。

研修会の内容：

- ① 関連法令（毒物及び劇物取締法）（県薬務対策課）
- ② 植物防疫一般・関連法令（植物防疫、農薬行政、農薬取締法）
（県農業普及技術課）
- ③ 農薬一般（農薬の種類、特性等）（県総合農試生物環境部）
- ④ 農薬の安全性評価及び各種基準
（県総合農試病害虫防除・肥料検査課）
- ⑤ 雑草防除（県総合農試作物部）
- ⑥ 病害虫防除（県総合農試専門技術センター）
- ⑦ 農薬の安全使用、危被害防止対策（県農業普及技術課）
- ⑧ 農薬管理指導士の任務（県農業普及技術課）

(3) 植物防疫研修会の開催

開催日：令和4年6月8日

場 所：宮崎市 宮崎県総合農業試験場研修棟

県内各地 地域農業改良普及センター（リモート）

対象者：市町村、J A、経済連、農業共済組合、農薬卸組合、
農薬小売商組合、農薬メーカー、県 計122名出席

研修会の内容

○ コーディネーター 宮崎県総合農業試験場専門技術センター（病害虫）

- ① 演題：発生予察事業と国内で確認された新奇病害虫
講師：宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課（担当）
- ② 演題：果菜類における微小害虫の薬剤感受性検定
講師：宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課（担当）
- ③ 演題：かんしょのヒルガオハモグリガの防除について
講師：宮崎県総合農業試験場生物環境部（担当）
- ④ 演題：サツマイモ基腐病の防除対策
～イノベーション創出強化研究推進事業防除対策マニュアルについて～
講師：宮崎県総合農業試験場生物環境部（副部長）

(4) 病害虫発生予察情報の印刷・配付

発生予察情報	計24回（2,260部）
内訳 予報	12回
警報	0回
注意報	2回
特殊報	1回
防除情報	9回

- (5) 農薬適正・安全対策資料及び防除対策資料の作成・配付
- ① 農薬適正・安全対策資料 480部
(植物防疫研修会資料、農薬管理指導士更新研修会資料)
 - ② 農薬安全・適正使用啓発資料
 - ・ 農薬はラベルのとおり正しく使用しましょう。 5,000部
 - ・ 令和5年産雑草イネ対策マニュアル 1,600部
 - ③ 令和5年版病害虫・雑草防除等指導指針 500部
 - ④ 令和3年度農薬展示ほ成績書 100部

2 農薬展示ほ設置事業

病害虫・雑草防除等指導指針や地域の防除暦策定の資料とするため、西臼杵支庁・農林振興局(農業改良普及センター)等関係機関の協力を得て、新たに登録あるいは適用が拡大された農薬を中心に展示ほを設置し、防除効果等の検討を行った。

(1) 農薬展示ほ設置及び検討会の開催実績

表2 農薬展示ほ設置実績 ()は前年度

部 門	農 薬 数	展 示 箇 所 数
水 稻	19 (25)	41 (45)
大 豆	0 (2)	0 (4)
茶	3 (0)	6 (0)
野 菜	21 (16)	37 (37)
花 き	9 (9)	11 (15)
果 樹	6 (13)	14 (25)
飼 料 イネ	7 (12)	14 (21)
合 計	65 (77)	123 (147)

表3 展示ほ検討会の開催実績

部 門	現地検討会	成績検討会	設置検討会	合計
水稻・飼料用イネ	0 回	2 回	1 回	3 回
野 菜		1	1	2
花 き		1	1	2
果 樹		1	1	2
茶		1	1	2
飼 料 作				
合 計	0 回	6 回	5 回	11 回

表4 令和5年版「宮崎県病害虫・雑草防除等指導指針」採用農薬数

部 門	殺虫・殺菌剤	除草剤
水 稲	6	19
大 豆		2
茶		
野 菜	23	
花 き	9	
果 樹	14	
飼料用イネ	2	9
合 計	54	30

(2) 農薬展示は事故対策補てん事業

農薬展示は設置によって発生した事故に係る損害の補てんを行うための事業であるが、適正な管理のもとで各農薬展示ほの設置が行われた結果、事故の発生はなかった。

・補てん金支払実績 なし

3 G A P 推進事業

G A P 指導員の育成や「ひなたG A P」認証制度の運営を通して、食の安全、環境保全、労働安全の取組を進めた結果、ひなたG A P 認証取得者は令和4年度末時点で116経営体となった（前年比3経営体の増）。また、ブランド産地等の安全・安心の取組としての推進や、個々のG A P の負担軽減を目的に、新規認証取得者を団体と教育機関のみとしているが、個人・法人の更新審査については引き続き実施した。

(1) 指導員研修実績

項 目	回数	参加人数
J G A P 指導員基礎研修	1	19
A S I A G A P 指導員差分研修	1	19
ひなたG A P 審査員育成研修	1	11

(2) 「ひなたG A P」の審査、認証制度の整備

申請書の受理、書類審査と現地へ審査員を派遣

① ひなたG A P 維持審査

日向市、延岡市の農業者及び団体を対象に3ヶ所で行った

② ひなたG A P 更新審査

宮崎市、都城市、延岡市、日向市、小林市、国富町、三股町、高鍋町、川南町、都農町の農業者及び団体を対象に23ヶ所で行った

③ 団体構成員追加審査

西都市1ヶ所で行った

(3) 判定審査会の開催

5月（9件）、8月（8件）、11月（5件）、2月（5件）の実施

(4) 認証証書の発行事務

初回審査（3件）、更新審査（19件）の認証証書の発行